

# 「第3のイノベーション」理論を実現させる 事業企画・組織開発の手法

商学部  
経営・流通学科  
教授  
聞間 理



## 研究シーズの紹介

本研究は、MITスローン・スクールのデビッド・ロバートソンの提唱する「第3のイノベーション」理論に基づき、それを企業の事業企画や組織開発へとスムーズにつなげるための研究である。

企業の業績を改善するような事業企画が実現するには、従業員の積極的な参画が欠かせない。そこで従業員の経験や発想をより効果的かつスムーズに引き出すための方法とし

て、プラスチックのブロックを使ったワークショップ手法と組み合わせることで、それをより確実かつ効果的に実現させる。

これまでの実績として、ある卸売の会社でワークショップを行い、その会社の従業員の意識に良い影響を与え、期待のもてる事業企画アイデアを出すことができた。



### 第3のイノベーション

- 企業における中核的な製品・サービスを大きく変更すること「なく」、その製品・サービスの価値を高める周辺のビジネス・システムを構築するという戦略のことである。



### レゴシリアスプレイ

- 人間のもつ、言葉にしにくい感覚や発想をレゴブロックを使って引き出し、人々の参加感情を高め、生産的な対話へとつなげていく手法である。従業員や顧客が普段感じているが、語っていないことを引き出していく。

手法導入のイメージ： ※途中までのステップでも対応可能です。

**STEP1**  
第3のイノベーション  
考え方の  
理解と共有

研究者による事例を交えた理論解説などを通じて、「第3のイノベーション」の考え方と実施に向けたプロセスを理解します。

**STEP2**  
従業員を  
巻き込んだ  
アイデアの創出

レゴブロックを使ったワークショップが効果的です。可能な限り、アイデアの元になる情報の調査期間を設けるようにします。

**STEP3**  
アイデアを  
形にする  
ビジネスシステム  
の構築

経営者や経営企画室を中心に、出されたアイデアを連結し、既存事業を復活させるような事業計画へとまとめていきます。



実施事例の論文を上のQRコードで読むことができます。

## 期待される活用シーン

- 新しい事業を考えたり、起こしていくことを求められているけども、どうしたらいいかわからない。



第3のイノベーションの考え方に沿って、中核商品の価値を高めるアイデアを出します。



アイデアを連結したビジネスシステムができます。

- 従業員の気持ちを改めて会社へ向け、改善アイデアがどんどん出てくる会社になりたい。



従業員の気持ちをワークショップで高め、アイデアを引き出す場をつくります。



従業員が積極的に意見を出す職場ができます。